組体操 安全確保のためのチェックリスト

滋賀県教育委員会

　年　　月　　日（　　）　第　　校時

記入者（　　　　　　　　　　　　　　　）

**指導内容・体制について**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　目 | | 確認 |
| 1 | 守るべきルールを児童生徒に徹底した。  （例：緊張感を持って集中して取り組む、身だしなみ＊を整える、  指示をしっかり聞く、教員の目が届かない自由練習は行わない等）  ＊身だしなみ…服装を整える、髪を束ねる、爪を切る等 |  |
| 2 | 各技に潜む危険性や危険回避の方法について、児童生徒に理解させた上で指導した。 |  |
| 3 | 運動の特性に応じた準備運動を行った。  （例：首、肩、手首、足首、背中等のストレッチ） |  |
| 4 | 技の役割分担は、体格や運動技能、心情等に配慮し、児童の納得のもとに活動を行った。 |  |
| 5 | 別紙１を確認した上で、段階的な指導や個別指導を適切に行った。 |  |
| 6 | 指導は児童生徒が集中できる時間内に収めた。 |  |
| 7 | 補助のポイントや役割等、共通理解を図って組織的に指導した。 |  |

**環境に応じた指導について**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　目 | | 確認 |
| 1 | 天候、気温や湿度、学習活動場所の状況に応じた指導をした。 |  |
| 2 | 児童生徒の体調に十分配慮し、適度な休憩や給水時間を確保した。 |  |

**安全な指導について**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　目 | | 確認 |
| 1 | 安全確保のために必要に応じて、マット等の用具活用や、適切な練習場所の整備を行う。 |  |
| 2 | 技の習熟度に応じて、内容や指導方法を適宜見直し、安全な実施が困難と判断される場合は技の実施を見合わせた。 |  |

**安全な指導を行うために**

|  |
| --- |
| ※上記チェック項目で『×』があった場合、次時の学習に向けた指導計画や指導内容、指導体制、安全対策等について改善策を記入すること。 |

※学習後は、毎回実施すること。